

三鷹駅北口交通街づくりについて

三鷹駅北口の交通街づくりとは？

● 三鷹駅北口街づくりビジョンとは

三鷹駅北口の交通環境が大きな変化を迎える概ね10年後の街の方向性を示したもの

現在、このビジョンに基づいて交通環境についての方針の策定に向け、地域の皆さまと意見交換を進めています。

● 三鷹駅北口の交通街づくり

→ 『まちの大きな改変を目指す、計画段階のもの』で
具体的な設計段階のものではありません。

なぜこのタイミングでバリアフリー ネットワーク会議で取り上げるのか

- 方向性を議論している早い段階（計画段階）で
当事者の方を含めた関係者のご意見を伺うことで・・・



- 決まった範囲の中で、対応可能なことを考える
のではなく、早い段階から『ユニバーサルな視点』を
取り入れていくため

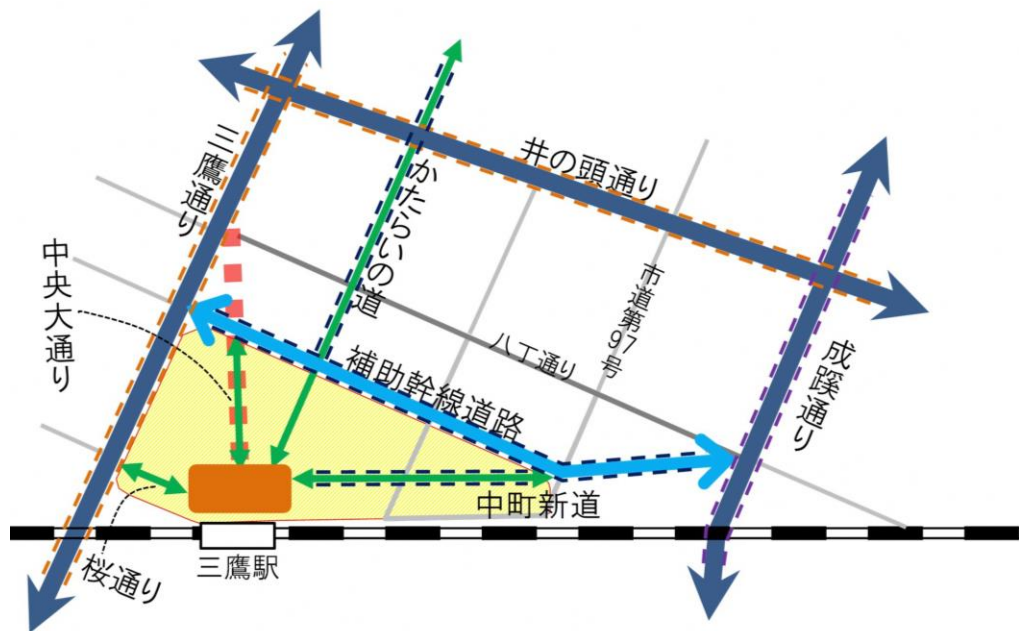
三鷹駅北口における交通環境に係る現在の問題点



ポイント1

補助幹線道路について

三鷹駅北口の周辺のバイパス機能を持つ道路として整備を進めています。道路整備が完成すると、駅周辺の交通環境が大きく変わります。



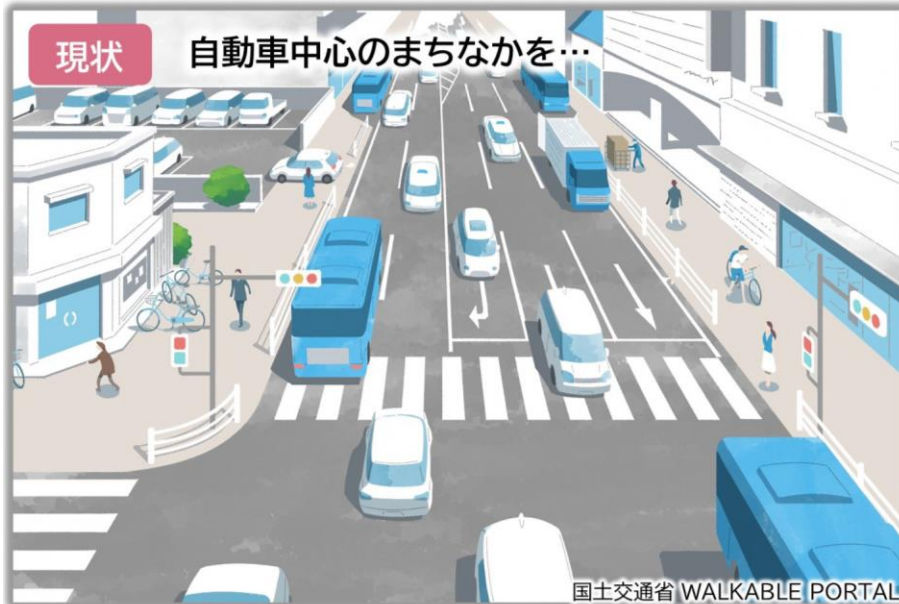
凡例

- ↔ 外周幹線道路
- ↔ 通過交通の迂回道路
- - - 駅へのアクセス幹線道路
- ▨ 歩行者を中心とするにぎわいのエリア
- 歩行者動線の軸
- 自転車走行空間ネットワーク路線
- 広域的なネットワーク機能・駅への動線
- 広域的なネットワーク機能を補完する
- 駅への動線

ポイント2

自動車中心 → 歩行者中心（ウォーカブル）

人々が集い、交流する「居心地が良く歩きたくなる」街を目指します



現在の検討状況

★ 「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた基本的な考え方」

- ✓ 令和2年度末に公表
- ✓ 地域の方々と課題を共有し、解決に向けた方針について意見交換していくためのたたき台
- ✓ 目標時期は概ね2030年代（10～20年後）



★ 「三鷹駅北口交通環境基本方針」

- ✓ 意見交換を踏まえ、市の方針として策定を予定
- ✓ 策定に向けて、令和4年4～6月には道路上にテーブルセットを置く社会実験を実施（次スライド）

社会実験の様子



令和4年4月22日～6月12日に実施

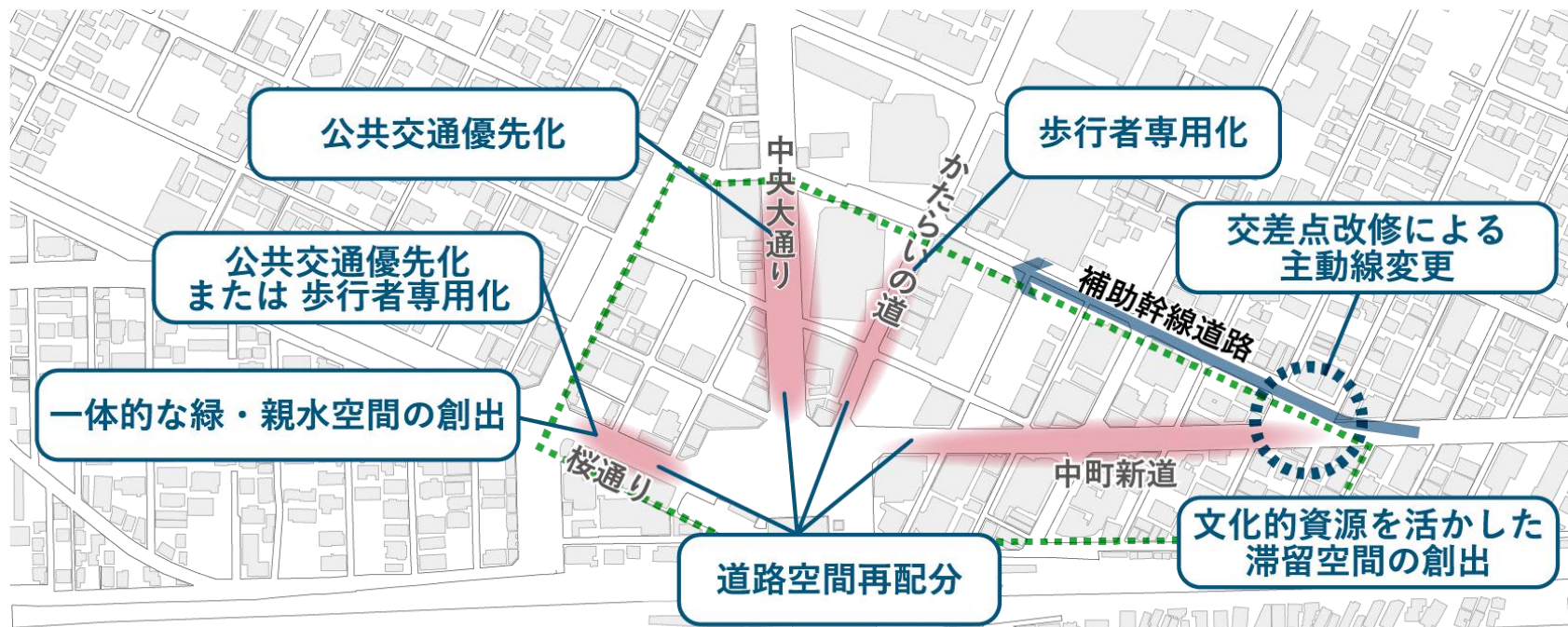
考え方 1 駅周辺道路の交通体系の再編

■期待される効果

- ✓ 交通モードの整理による錯綜や混雑の解消
- ✓ 補助幹線道路の整備による交通量の抑制と合わせた歩行者中心の街づくり
- ✓ 居心地よく過ごせる滞留空間の創出
- ✓ 玉川上水と一体的な緑・親水空間の創出（桜通り）

■実現に向けた課題

- ✓ 地域の方々や交通事業者、各施設管理者の合意が必要
- ✓ 荷捌き車両の対応や自転車交通などの周辺道路への影響について社会実験等を通じた検証が必要



〈交通体系、歩行空間、緑・親水空間の取組内容〉

考え方 1 駅周辺道路の交通体系の再編

〈かたらいの道の歩行者専用化が実現した場合のイメージ〉

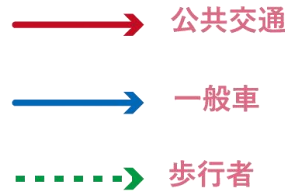


考え方2 駅前広場の2ロータリー化

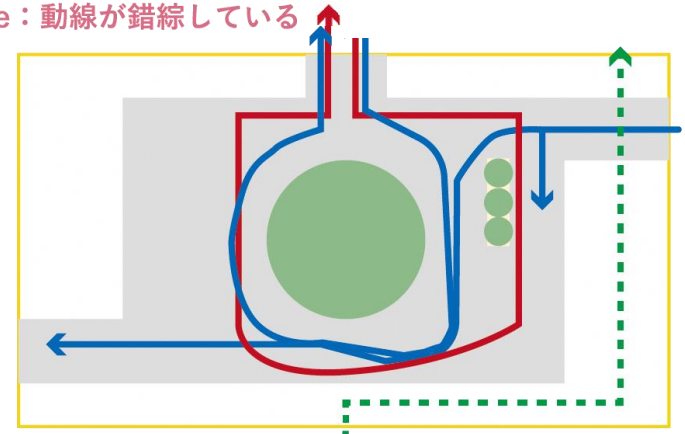
■期待される効果

- ✓ 通過交通の流入の解消
- ✓ 車両の誤進入の解消
- ✓ 一般車両とバスの交錯の解消
- ✓ 歩行者の安全な移動の実現

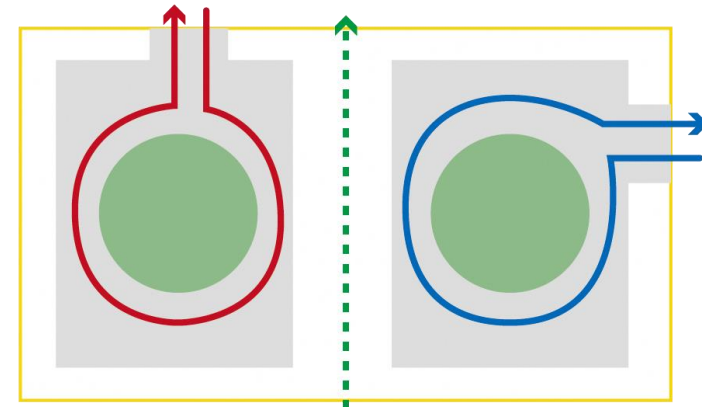
〈2ロータリー化概念図〉



Before : 動線が錯綜している



After : 2ロータリー化により動線を整序化



■実現に向けた課題

- ✓ 公共交通を優先する観点から、一般車両と福祉車両の迂回が必要
- ✓ バスやタクシー等の公共交通、福祉車両は、駅舎からの近さ、安心して乗降できる環境に配慮が必要

考え方3 駅前広場の拡張

■期待される効果

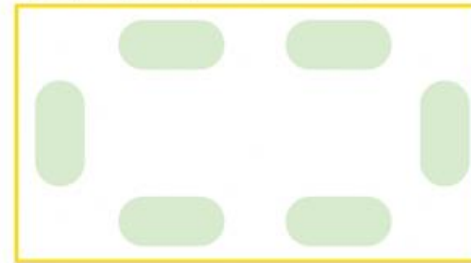
- ✓ 一般車両の安全な乗降
- ✓ 福祉車両の安心できる乗降環境
- ✓ 公共交通の安全な運行や定時性の確保
- ✓ 公共交通の利便性の維持
- ✓ 歩行者のための滞留空間の拡充
- ✓ 将来の変化に対応可能

■実現に向けた課題

- ✓ 土地所有者等の協力が必要
- ✓ 多様な当事者による検討の場への参加と相互理解が必要

〈駅前広場の拡張概念図〉

Before : 乗降場が不足している



After : 敷地拡張によりバス・一般車・福祉車両・タクシーの乗降場を拡充



バリアフリーネットワーク会議でお聞きしたいこと

★具体的な整備手法や、駅前広場のレイアウトなど、詳細な内容を掘り下げる段階ではありません。そのため、現在の問題点を短期的に解決しようということではなく、大きな視点や長期的な視点のご意見もいただければ幸いです。

★例えば、

- ・○○の視点をもって取り組みを進めるとよい
- ・△△駅前の広場が●●の考え方を取り入れているので使いやすかった
- ・××では当事者と交通事業者が良い連携をしているので参考になるのではないかなど。